

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価の結果に関する報告書  
【令和2年度分】**

**令和3年11月  
魚沼市教育委員会**

## 目 次

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 制度について .....                   | 2 |
| 2 目的について .....                   | 2 |
| 3 学識経験者の知見の活用 .....              | 2 |
| 4 対象事業及び評価方法 .....               | 3 |
| (1)対象事業 .....                    | 3 |
| (2)評価方法 .....                    | 3 |
| 5 令和2年度事業の教育に関する事務の点検評価報告書 ..... | 6 |

# 点検及び評価制度の概要について

## 1 制度について

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」のひとつとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

### 【根拠法令】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 目的について

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下事務局を含め、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、重点化等を図るべき分野を明確化するなど、市民が求める質の高い教育環境を提供することに資するとともに、住民に対する行政の説明責任(アカウンタビリティ)を果たすための体制を充実させ、教育行政に対する市民の信頼性の向上を図ることを目的としています。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価を実施するにあたり、地教行法第26条第2項の規定による「教育に関し学識経験を有する者の知見」の活用を図るため、「教育に関する事務の点検及び評価実施要綱」を定め、選

任した学識経験者2名から外部評価を受けるという形で実施しました。

魚沼市教育委員会 事務点検評価者

| 氏 名    | 経 歴 等       |
|--------|-------------|
| 瀧澤 治 氏 | 魚沼市文化協会長    |
| 梶 良成 氏 | 新潟県立小出高等学校長 |

## 4 対象事業及び評価方法

### (1)対象事業

本年の点検・評価は、令和2年度における教育委員会の権限に属する事務のうち実際に教育委員会が管理・執行している事務事業の中から「第二次魚沼市総合計画 前期基本計画」に記載された事業の中から次の事業を点検・評価の対象としました。

点検・評価対象事業

| No. | 事業名               | 担当課   |
|-----|-------------------|-------|
| 1   | 外国語指導助手派遣事業       | 学校教育課 |
| 2   | 総合学習支援事業          |       |
| 3   | 自然環境学習推進事業        |       |
| 4   | ICT機器整備・情報教育推進事業  |       |
| 5   | 図書館管理運営事業         | 生涯学習課 |
| 6   | 埋蔵文化財調査活用事業       |       |
| 7   | 宮柊二記念館運営事業        |       |
| 8   | 市民スポーツ普及事業        |       |
| 9   | ひとり親家庭等医療費助成事業    | 子ども課  |
| 10  | 要保護児童相談・支援事業      |       |
| 11  | 妊産婦医療費助成事業        |       |
| 12  | 子育て世代包括支援センター管理事業 |       |

### (2)評価方法

評価対象事業については、「第二次魚沼市総合計画前期基本計画の評価結果(令和3年9月)」として既に公表されています。

こうしたことから事務点検評価者には、事業の内容、成果、課題並びに内部評価の結果等について説明し、外部評価として客観的な視点から点検・評価を実施していただきました。

点検・評価の結果については、【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果のシートに外部評価欄を設け、事務点検評価者のコメントを追記しています。

### 点検評価の経過

| 月日     | 会議名                          | 内容                      |
|--------|------------------------------|-------------------------|
| 9月30日  | 令和2年度実施事業 教育委員会事務の点検・評価(第1回) | 委嘱状交付<br>子ども課所管事業の点検・評価 |
| 10月6日  | 令和2年度実施事業 教育委員会事務の点検・評価(第2回) | 学校教育課及び生涯学習課所管事業の点検・評価  |
| 11月4日  | 令和2年度実施事業 教育委員会事務の点検・評価(第3回) | 点検・評価結果とりまとめ            |
| 11月16日 | 教育委員会第11回定例会                 | 点検・評価結果報告               |

### 【参考】内部評価について

#### 一次評価(担当課評価)

事業担当課において目標の達成度や執行状況等を踏まえ「事業の成果」をSABCDの5段階からの選択式で、「令和2年度事業の方向性」を記述式で評価しました。

#### 5段階評価の内容

|     |            |
|-----|------------|
| S評価 | 目標超過達成     |
| A評価 | 目標達成       |
| B評価 | 相当程度進展あり   |
| C評価 | 進展が大きくない   |
| D評価 | 目標に向かっていない |



令和2年度  
教育に関する事務の点検評価報告書

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |  |         |              |    |    |              |             |
|----------|--|---------|--------------|----|----|--------------|-------------|
| No       | 374  | 事務事業名   | 外国語指導助手派遣事業  |    |    | 担当課          | 学校教育課       |
|          |  |         |              |    |    | 担当係          | 庶務係         |
| ハード/ソフト  | ■ソフト   | 根拠法令等   |              | 会計 | 一般 | 担当課長氏名       |             |
| 開始年度     | 平成 28 年度   |         |              | 款  | 10 | 担当者氏名        |             |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度  |         |              | 項  | 1  | 連絡先(TEL・IP)  |             |
| 実施方法     | ■直営  | 対象者及び人数 | 市立学校に通う児童、生徒 | 目  | 3  | 総事業費(H28~R2) | 56,366 (千円) |
|          |  |         | 2,800 人      | 事業 |    |              |             |
| 事業概要     | ALTを任用し、全ての市立小・中学校に派遣を行い、英語教育の充実を図ります。(旧 語学指導助手招致事業) |         |              |    |    |              |             |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |              |  |
|-------|----------------------|--------------|--|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針(施策の内容) | 魚沼の自然や人的・文化的資源などの「ふるさと力」を生かし、家庭、地域、学校が目標や理念を分かち合い、協力し合って、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備をすすめます。<br>また、家庭教育、人権教育などの充実を図りながら、子どもたちの居心地の良い居場所づくりを行い、基礎学力の定着と体験活動を重視した教育の実践を推進します。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 3 — 1 )        |              |  |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |  |         |  |
|--------|--|---------|--|
| ■計画の名称 |  | ■施策の内容等 |  |
|--------|--|---------|--|

|            |                   |  |
|------------|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ | ■戦略番号             |  |
|            | ■戦略の方向            |  |
|            | ■主な施策             |  |
|            | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |  |            |  |
|------------|--|------------|--|
| 事業実施における課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の進級・進学により児童生徒が入れ替わっていくため、ALTによる学校支援を継続して実施し、学齢期の早い段階から外国語や異文化に興味を持ち、英語に親しめるように外国人ALT・日本人ALTを今後も引き続き配置していく必要があります。</li> <li>・学校が長期休業中のALTの活用については、検討を進めていく必要があります。</li> </ul> | 課題解決に向けた方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTによる学校支援を継続して実施できるようALTの配置を行っていきます。</li> <li>・学校が長期休業中のALTの活用については、教員からの要望(2・3学期の授業準備や評価等の教員研修)を踏まえ、実施の可否も含めて具体的な取組の検討を進めていきます。</li> </ul> |
|------------|--|------------|--|

5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目               | H28実績/目標(達成率)        | H29実績/目標(達成率)         | H30実績/目標(達成率)         | R1実績/目標(達成率)          | R2実績/目標(達成率)         | 単位 | 備考(説明・計算式)         |
|-------------------------------|------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----|--------------------|
| 成果指標                          | NRT学力検査結果(中学3年生) | 51.2/51.5<br>(99.4%) | 51.7/51.5<br>(100.4%) | 52.4/51.5<br>(102.0%) | 51.8/51.5<br>(100.5%) | 48.9/51.5<br>(95.0%) | 点  | 偏差値50を全国平均とし、比較した値 |
|                               |                  | /                    | /                     | /                     | /                     | /                    |    |                    |
|                               |                  | ( % )                | ( % )                 | ( % )                 | ( % )                 | ( % )                |    |                    |
|                               |                  | /                    | /                     | /                     | /                     | /                    |    |                    |
|                               |                  | ( % )                | ( % )                 | ( % )                 | ( % )                 | ( % )                |    |                    |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |                  |                      |                       |                       |                       |                      |    |                    |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8   | H 2 9                   | H 3 0                   | R 1                     | R 2                     | 備 考 |
|----------------|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-----|
|                | 決算額   | 決算額                     | 決算額                     | 決算額                     | 決算額                     |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | ・ALT2名賃金<br>・日本人ALT1名賃金<br>・上部団体（自治体国際化協会）負担金 | ・ALT2名賃金<br>・日本人ALT1名賃金 | ・ALT2名賃金<br>・日本人ALT2名賃金 | ・ALT2名賃金<br>・日本人ALT2名賃金 | ・ALT3名賃金<br>・日本人ALT3名賃金 |     |
| うち現年度分事業費      | 8,392   | 8,282                   | 12,236                  | 12,219                  | 15,237                  |     |
| うち繰越分事業費       | 0   | 0                       | 0                       | 0                       | 0                       |     |
| 総事業費（千円）       | 8,392   | 8,282                   | 12,236                  | 12,219                  | 15,237                  |     |

7. その他特記事項

令和2年度からの小学校新学習指導要領全面実施に備え、市では小学3・4年生の「外国語活動」を年間15時間、5・6年生は50時間を最低限の時数とし、これに対応するために、日本人ALT3名、外国人ALT2名の5名体制を組みました。  
令和3年度からは、「外国語指導助手派遣事業」を廃止し、外国語教育や国際交流を通じ、国際社会で通用する能力やグローバルな視点・経験をもって地域の活性化及び持続的発展に貢献する人材を育成します。

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策名                              | 貢献度  | 施策に対してどのように貢献したか |  |
|----------------------------------|--|------------------|--|
|                                  |  | 高                | 低  |
| 【5-3-1】<br>自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進 | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い   | やや高い             | グローバル化に対応した人材育成の一つとして、小学校からの英語教育充実が文科省主導で行われています。本事業により、ネイティブな英語に触れ、英語によるコミュニケーション体験をすることは、「私たちが育む学びのまちづくり」の中の、「体験活動を重視した教育の実践」の視点に照らしてみても、施策に十分貢献している事業と言えます。 |
|                                  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い   |                  |  |
|                                  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い   |                  |  |
| 次年度に向けて改善すべき事項やさらに取り組むべき事項       | ① 外国語への意欲・関心、外国語に関する基礎学力、外国語によるコミュニケーション力の更なる向上<br>② ALT間の情報共有や研修機会の確保、教員へのアンケートにより、教員に対するより効果的な支援活動の推進<br>③ 小学生の外国語への興味関心をより一層高めると共に、中学校での英語学習に滑らかに引き継ぐための工夫<br>④ 小学校の外国語・外国語活動の時数増に対応するためのALTの増員 |                  |  |

| 事業の格付け（ポジショニング）  | 評価の理由  |   |
|--|--|---|
| S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きい<br>D：目標に向かっていない   | B  | 成果目標指数を下回りましたが、小・中学校教員へのアンケート調査結果から、本事業により、小学校では「外国語学習に興味関心をもって取り組む児童、ALTを有効に活用した授業を進めようとする担任教員」が増えています。中学校でも、「ALTとの協働による生徒のコミュニケーションスキルアップを実感する教員」が増えています。 |
| 令和4年度事業の方向性<br>小・中学校で新学習指導要領が全面実施されました。グローバル化に対応した教育が加速し、本市においても居住・訪問する外国人が着実に増えている中、今後も本事業の重要性は極めて高いです。併せて、本市の小中学校では新採用から6年目までの「経験年数の少ない若手教員」の割合が他市町村に比べて高い点を踏まえ、上記「改善すべき事項・さらに取り組むべき事項」を推進していく必要があります。 |  |   |
| 外部評価   | グローバル化する日本の将来においては、日常的に英語を話したり聞き取ったりする環境を作ることが重要です。そのために小学生からALTによるネイティブな英語に触れる機会を増やすことや、英語指導教員の資質向上も必要です。 |   |

## 【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

### 1. 事務事業基本情報

|          |  |         |                                |  |  |  |               |             |
|----------|--|---------|--------------------------------|--|--|--|---------------|-------------|
| No       | <b>重 376</b>                                 | 事務事業名   | <b>総合学習支援事業</b>                |  |  |  | 担当課           | 学校教育課       |
|          |  |         |                                |  |  |  | 担当係           | 学事係         |
| ハード/ソフト  | ■ソフト   | 根拠法令等   | 学校教育法施行規則                      |  |  |  | 会計            | 一般          |
| 開始年度     | 平成 28 年度                                     |         |                                |  |  |  | 款             | 10          |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度                                      |         |                                |  |  |  | 項             | 1           |
| 実施方法     | ■一部委託  | 対象者及び人数 | H28年度の小中学校の児童生徒数見込み<br>2,774 人 |  |  |  | 目             | 3           |
|          |  |         |                                |  |  |  | 事業            | 6           |
|          |  |         |                                |  |  |  | 総事業費 (H28~R2) | 31,300 (千円) |
| 事業概要     | 魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験や、地域の優れた人材先輩を講師として招き学習します。 |         |                                |  |  |  |               |             |

### 2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |               |  |
|-------|----------------------|---------------|--|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針 (施策の内容) | 魚沼の自然や人的・文化的資源などの「ふるさと力」を生かし、家庭、地域、学校が目標や理念を分かち合い、協力し合って、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備をすすめます。<br>また、家庭教育、人権教育などの充実を図りながら、子どもたちの居心地の良い居場所づくりを行い、基礎学力の定着と体験活動を重視した教育の実践を推進します。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 3 — 1 )        |               |  |

### 3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |  |         |  |
|--------|--|---------|--|
| ■計画の名称 |  | ■施策の内容等 |  |
|--------|--|---------|--|

|   |                   |  |
|---|-------------------|--|
| <b>総合戦略での位置づけ</b>   | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|   | ■戦略の方向            | 3-(3) 次の世代を担う子どもの育成                    |
|   | ■主な施策             | 3-(3)-① 社会で活躍できる子どもの育成                 |
|   | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 自然環境や文化のみならず、キャリア教育として職場体験も行っています。それら生まれ育った「ふるさと」の魅力を知る機会となっています。進学・就職等により魚沼を離れても「ふるさと」へのUターンが期待できます。 |                   |  |

### 4. 事業実施に向けた課題

|            |   |            |   |
|------------|---|------------|---|
| 事業実施における課題 | ・学校ごとに立地条件や児童生徒数に違いがあり、各校での取り組み内容、特色が異なります。 | 課題解決に向けた方策 | ・各学校の特色を生かした取組を支援するため、関係部局とも連携し、市内における体験活動が可能な企業や施設の紹介、市の出前講座の活用を提案するなど学校への情報提供を行います。 |
|------------|---|------------|---|

### 5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目                 | H28実績/目標 (達成率)    | H29実績/目標 (達成率)    | H30実績/目標 (達成率)  | R1実績/目標 (達成率)   | R2実績/目標 (達成率)   | 単位 | 備考(説明・計算式)          |
|-------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----|---------------------|
| 成果指標                          | 児童・生徒の「ふるさと」への意識向上 | 76/60<br>(127.0%) | 78/65<br>(120.0%) | 74/70<br>(106%) | 73/70<br>(104%) | 77/75<br>(103%) | %  | 児童・生徒を対象にアンケート調査を実施 |
|                               |                    | /                 | /                 | /               | /               | /               |    |                     |
|                               |                    | ( % )             | ( % )             | ( % )           | ( % )           | ( % )           |    |                     |
|                               |                    | /                 | /                 | /               | /               | /               |    |                     |
|                               |                    | ( % )             | ( % )             | ( % )           | ( % )           | ( % )           |    |                     |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |                    |                   |                   |                 |                 |                 |    |                     |

## 6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8                           | H 2 9                           | H 3 0                           | R 1                             | R 2                             | 備 考 |
|----------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----|
|                | 決算額                             | 決算額                             | 決算額                             | 決算額                             | 決算額                             |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | 校外学習バス運行委託、農業資材購入、田んぼ管理費、講師謝金等。 | 校外学習バス運行委託、農業資材購入、田んぼ管理費、講師謝金等。 | 校外学習バス運行委託、農業資材購入、田んぼ管理費、講師謝金等。 | 校外学習バス運行委託、農業資材購入、田んぼ管理費、講師謝金等。 | 校外学習バス運行委託、農業資材購入、田んぼ管理費、講師謝金等。 |     |
| うち現年度分事業費      | 6,439                           | 6,250                           | 6,901                           | 7,612                           | 4,098                           |     |
| うち繰越分事業費       | 0                               | 0                               | 0                               | 0                               | 0                               |     |
| 総事業費(千円)       | 6,439                           | 6,250                           | 6,901                           | 7,612                           | 4,098                           |     |

## 7. その他特記事項

|  |
|--|
|  |
|--|

## 8. 事後評価(担当課評価)

| 施策への貢献度                                 | 施策名  | 貢献度  |  | 施策に対してどのように貢献したか   |
|---|--|--|--|--|
|   | 【5-3-1】<br>自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | <b>高い</b>  | 学校において本市の特色ある自然や文化について学んだり、体験する取組みであり、ふるさと力を生かし、感性豊かでたくましい子どもを育て、体験等を通じて主体的に学習する能力を育成するうえで重要な役割を果たしています。 |
| 【5-3-2】<br>市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | <b>高い</b>  | 米づくり体験や郷土芸能の伝承などについて地域住民から講師となって子どもたちを指導していただき、地域に開かれた学校づくりという施策の貢献を果たすことができました。 |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |  |  |  |
| 次年度に向けて改善すべき事項やさらに取り組むべき事項              | 各学校の特色を生かした取組を支援するため、関係部局とも連携し、市内における体験活動が可能な企業や施設の紹介、市の出前講座の活用を提案するなど学校への情報提供を行います。             |  |  |  |

| 事業の格付け(ポジショニング) |  | 評価の理由    |
|-----------------|--|----------|
| 事業の成果           | S:目標達成超過<br>A:目標達成<br>B:相当程度進展あり<br>C:進展が大きくない<br>D:目標に向かっていない   | <b>A</b> |
| 令和4年度事業の方向性     | 魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験や地域の優れた人材との交流など、校外学習のニーズが高いことから市としても支援を強化します。  |          |
| 外部評価            | 小中学生において、「ふるさと」を知るために大切な事業です。各学校や地域の特性を活かし、意識の向上の目的を達成できたことは大きな成果です。この事業の継続により将来のUターンを期待します。更なる事業の充実のため、県などの関係機関とも連携して活動を継続してください。 |          |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |   |         |                        |      |    |                  |             |
|----------|---|---------|------------------------|------|----|------------------|-------------|
| No       | 377   | 事務事業名   | 自然環境学習推進事業             |      |    | 担当課              | 学校教育課       |
|          |   |         |                        |      |    | 担当係              | 庶務係         |
| ハード/ソフト  | ■ソフト  | 根拠法令等   |                        | 会計区分 | 一般 | 担当課長氏名           |             |
| 開始年度     | 平成 28 年度  |         |                        | 款    | 10 | 担当者氏名            |             |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度   |         |                        | 項    | 1  | 連絡先(TEL・IP)      |             |
| 実施方法     | ■一部委託   | 対象者及び人数 | 市立小学校5学年児童<br>年間約300 人 | 目    | 3  | 総事業費<br>(H28~R2) | 23,151 (千円) |
| 事業概要     | 市立小学校5学年児童を対象として、次世代を担う子ども達の自然環境への関心、環境保全意識を高めるため、尾瀬での自然環境学習を実施します。 |         |                        |      |    |                  |             |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                           |                  |   |
|-------|---------------------------|------------------|---|
| ■基本目標 | 【環境衛生自然】豊かな自然と人が共生するまちづくり | ■取組方針<br>(施策の内容) | ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にすることを育むために、豊かな自然やさまざまな地域資源を活用した環境教育を推進します。<br>また、わかりやすく参加しやすい学習機会を提供し、市民一人ひとりの環境意識の高揚を図ります。 |
| ■施策番号 | ( 2 — 3 — 1 )             |                  |   |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |              |         |              |
|--------|--------------|---------|--------------|
| ■計画の名称 | 第2次魚沼市環境基本計画 | ■施策の内容等 | 環境教育と環境学習の推進 |
|--------|--------------|---------|--------------|

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ   | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|  | ■戦略の方向            | 3-(3) 次の世代を担う子どもの育成                    |
|  | ■主な施策             | 3-(3)-② 地元ふるさと愛教育の推進                   |
|  | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 子どもたちが自然豊かなふるさとに愛着を感じ、将来魚沼市に定住し、子育てをしたいと考えることが期待できます。また、ふるさとの魅力を新たな手法で都会に発信していく担い手としての活躍が期待できます。 |                   |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |  |            |  |
|------------|--|------------|--|
| 事業実施における課題 | 例年1泊で実施していますが、新型コロナウイルス感染拡大のため、日帰りでの実施となりました。今後もやむを得ず日帰りでの実施が想定され、限られた時間の中で、何を学ぶのかねらいを明確にするため事前指導が重要となります。船やバスの予約状況など各学校の日程調整が課題となっています。<br>小学校では低学年から身近な自然の学習を行い、尾瀬学習へと学びをつなげていますが、中学校で行う環境問題等の学習にもつなげていく必要があります。 | 課題解決に向けた方策 | 関係機関、学校と連携しながら随時必要な調整を行います。<br>中学校では、環境問題を含めたSDGsを視野に入れた取り組み等について、理科センターを活用するなど、各年代に合わせた学習の実施を支援します。 |
|------------|--|------------|--|

5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目                                | H28実績/目標<br>(達成率)  | H29実績/目標<br>(達成率) | H30実績/目標<br>(達成率)  | R1実績/目標<br>(達成率)   | R2実績/目標<br>(達成率)   | 単位 | 備考(説明・計算式)                          |
|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----|-------------------------------------|
| 成果指標                          | 事業が施策の実現に貢献していると答えた教員の割合          | 100/90<br>(111.0%) | 97/90<br>(107.8%) | 100/90<br>(111.1%) | 100/90<br>(111.1%) | 97/90<br>(107.8%)  | %  | 事業実施後に調査を行い、「貢献している」と回答した教員/全調査教員   |
| 成果指標                          | 参加児童の身近な環境に対する興味・関心が高まったと答えた教員の割合 | 97/90<br>(107.8%)  | 95/90<br>(105.6%) | 96/90<br>(106.6%)  | 100/90<br>(111.1%) | 100/90<br>(111.1%) | %  | 事業実施後に調査を行い、「意識が育まれた」と回答した教員/全調査教員  |
| 成果指標                          | 環境を守るために進んで行動したいと答えた児童の割合         | 94/90<br>(104.4%)  | 93/90<br>(103.3%) | 96/90<br>(106.6%)  | 96/90<br>(106.6%)  | 98/90<br>(108.8%)  | %  | 事業実施後に調査を行い、「進んで行動したい」と回答した児童/全調査児童 |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |                                   |                    |                   |                    |                    |                    |    |                                     |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8                                 | H 2 9                                 | H 3 0                             | R 1                                   | R 2                           | 備 考 |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-----|
|                | 決算額                                   | 決算額                                   | 決算額                               | 決算額                                   | 決算額                           |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | 小学5年生予定数 276人<br>宿泊費1/2助成船、バス、ガイド等の委託 | 小学5年生予定数 276人<br>宿泊費1/2助成船、バス、ガイド等の委託 | 小学5年生254人<br>宿泊費1/2助成船、バス、ガイド等の委託 | 小学5年生予定数 297人<br>宿泊費1/2助成船、バス、ガイド等の委託 | 小学5年生予定数 249人<br>船、バス、ガイド等の委託 |     |
| うち現年度分事業費      | 4,461                                 | 5,206                                 | 4,462                             | 5,518                                 | 3,504                         |     |
| うち繰越分事業費       | 0                                     | 0                                     | 0                                 | 0                                     | 0                             |     |
| 総事業費（千円）       | 4,461                                 | 5,206                                 | 4,462                             | 5,518                                 | 3,504                         |     |

7. その他特記事項

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日帰りでの実施となりました。コロナ感染防止対策として、交通機関のチャーター便利用のため、例年より委託料が増額となりました。また、日帰りのため、13節使用料及び賃借料に計上していた宿泊費用の支出はありませんでした。  
平成28、29、30、令和元年度は尾瀬檜枝岐温泉観光協会からの助成金により、児童・教員の宿泊費割引がありました。今後の助成は未定です。  
衛星携帯電話は平成30年度より無償で借用できるようになりました。（魚沼市観光協会備品）

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策への貢献度                          | 施策名  | 貢献度  |    | 施策に対してどのように貢献したか   |
|----------------------------------|--|--|----|--|
|                                  | 【2-3-1】<br>環境教育と環境学習の推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | 高い | 魚沼市の立地条件を生かし尾瀬国立公園に入ることができ、環境学習ガイドによる教員への事前支援や現地での説明を受けるなど、環境保全のための様々な対策を体験する機会となっています。ガイド料・交通費の全額負担、宿泊費の半額助成（R2年度は宿泊なし）を行うことで、市内全小学校の5年生が参加できました。 |
| 【5-3-1】<br>自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | 尾瀬の雄大な自然の中での活動を通し、ルールやマナー、仲間との協力や達成感などの多くを体験する機会となっています。多くの児童の行動意欲と意識の醸成が図られました。                 |    |  |
|                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |  |    |  |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項   | 今後も新型コロナウイルス感染症の影響による日帰りでの実施が想定され、限られた時間の中で何を学ぶのか、狙いを明確にするため事前指導が重要となります。                        |  |    |  |

| 事業の格付け（ポジショニング） |  | 評価の理由 |   |
|-----------------|--|-------|---|
| 事業の成果           | S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きくない<br>D：目標に向かっていない   | A     | 市内全小学校5年生に対し体験学習を実施することができ、児童の身近な自然への気づきや環境保全への行動意欲など、環境保護意識が育まれました。事後学習の中でパネル等作成し、他学年や保護者への発表、各学校へ巡回掲示、「生物多様性セミナー」での展示を行い、市民から学習の様子を知ってもらいました。 |
| 令和4年度事業の方向性     | 恵まれた立地条件を生かした体験学習の機会であり、毎年第5学年を対象に切れ目なく継続して実施することで、将来に広く影響し効果が期待できることから、今後も尾瀬での環境学習活動の取組を推進し、関係各位の協力を得ながら参加学校へ支援を行います。 |       |   |
| 外部評価            | 地域の特性を活かした自然活動での体験は、中学生に思い出としてしっかり残ります。また事業を通じて環境への関心も高まると思います。この事業が学校教育及び社会教育に継承できる工夫が図れると一層の教育効果が高まります。              |       |   |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |   |         |   |      |    |     |                  |
|----------|---|---------|---|------|----|-----|------------------|
| No       | 381   | 事務事業名   | ICT機器整備・情報教育推進事業                                      |      |    | 担当課 | 学校教育課            |
|          |   |         |   |      |    | 担当係 | 学事係              |
| ハード/ソフト  | ■ソフト  | 根拠法令等   | 新学習指導要領<br>教育の情報化に関する手引き<br>教育の情報化ビジョン<br>第2期教育振興基本計画 | 会計区分 | 会計 | 一般  | 担当課長氏名           |
| 開始年度     | 平成 28 年度  |         |   |      | 款  | 10  | 担当者氏名            |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度   |         |   |      | 項  | 1   | 連絡先(TEL・IP)      |
| 実施方法     | ■直営   | 対象者及び人数 | 小中学校教職員・児童生徒<br>(H31年度見込み)<br>2,885 人                 |      | 目  | 3   | 総事業費<br>(H28~R2) |
| 事業概要     | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが社会の情報化の進展に対応できるよう、児童生徒の情報モラルを含む基礎的な情報活用能力を育成するためICT機器を計画的に整備し、情報教育の推進を行います。</li> <li>国の方針によるICT機器整備を進めます。</li> <li>H21年度のICT環境整備事業で整備したICT機器の老朽化に伴う更新及びリース期間満了に伴うパソコン等の更新を行います。</li> </ul> |         |   |      |    |     |                  |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |                  |  |
|-------|----------------------|------------------|--|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針<br>(施策の内容) | 老朽化対策、大規模改修などによる施設整備をすすめるとともに、情報化対応など、近年の学習内容や形態に合った環境への改修を行い、子どもたちが快適に学ぶことができる、安全・安心な学校施設の整備をすすめます。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 3 — 3 )        |                  |  |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |                   |         |                             |
|--------|-------------------|---------|-----------------------------|
| ■計画の名称 | 魚沼市ICT推進計画        | ■施策の内容等 | 人的基盤の充実、ICT利活用の推進、情報通信基盤の整備 |
|        | 魚沼市立学校情報教育推進計画(案) |         | ICT機器の整備、情報教育の支援体制の整備       |

|            |                   |  |
|------------|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ | ■戦略番号             |  |
|            | ■戦略の方向            |  |
|            | ■主な施策             |  |
|            | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |  |            |   |
|------------|--|------------|---|
| 事業実施における課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>文科省が示すICT環境整備計画に基づき、小中学校のICT機器の環境整備を行う必要があります。</li> <li>小中学校において、校務の負担を軽減し、授業づくり等にあてる時間を増やすために、統合型校務支援システムを共同化する必要があります。</li> <li>文科省が示すICT機器を活用した教育を推進するための体制作りが必要です。</li> </ul> | 課題解決に向けた方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報教育推進体制の確立を目指します。</li> <li>「魚沼市立学校情報教育推進計画」の見直しを毎年行い、国の方針や周辺自治体の動向に基づいた機器の整備及び情報教育の推進を行います。</li> <li>最適な統合型校務支援システムの共同化のために、各自体や小中学校との連携を行います。</li> <li>ICT機器の活用の一環として、ICT支援員による支援方法の検証と推進を行います。</li> </ul> |
|------------|--|------------|---|

5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目                          | H28実績/目標<br>(達成率)   | H29実績/目標<br>(達成率)    | H30実績/目標<br>(達成率)    | R1実績/目標<br>(達成率)      | R2実績/目標<br>(達成率)     | 単位 | 備考(説明・計算式)  |
|-------------------------------|-----------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|----|---|
| 活動指標                          | モデル校でICT機器を活用した授業時間数        | 600/580<br>(103.4%) | 2130/600<br>(355.0%) | 2280/650<br>(350.8%) | 4010/3300<br>(121.5%) | 4200/4400<br>(95.5%) | 回  | H32に1日1回全クラスで使用。<br>H32で、220日×20クラスが目標                              |
| 活動指標                          | 授業中ICTを活用して指導できる教員の割合(モデル校) | 65/67<br>(97.0%)    | 76/73<br>(103.5%)    | 69/77<br>(89.6%)     | 83/80<br>(103.8%)     | 71/82<br>(86.6%)     | %  | 情報機器を活用した授業が「できる、ややできる」と答えた教職員/全調査教員                                |
| 成果指標                          | 授業に対する満足度(モデル校児童・生徒)        | 未測定/70<br>(%)       | 95/75<br>(126.4%)    | 97/80<br>(121.2%)    | 未測定/85<br>(%)         | 94/90<br>(104.4%)    | %  | 教師用タブレットを導入したことによる授業への満足度「今までより楽しくなった集中できるようになった」と答えた児童生徒/モデル校児童生徒数 |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |                             |                     |                      |                      |                       |                      |    |   |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8   | H 2 9   | H 3 0  | R 1  | R 2  | 備 考 |
|----------------|---|---|--|--|--|-----|
|                | 決算額   | 決算額   | 決算額  | 決算額  | 決算額  |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | 「魚沼市立学校ICT整備機器整備計画」策定。モデル校での教職員用タブレット導入検証。(井口小プロジェクト導入、小出中大型モニタ活用)タブレット使用方法講習会開催。 | ・校務用PC更新<br>・モデル校における教師用タブレットの有効性検証<br>・ICT支援員配置(モデル校2校のみ)<br>・無線LAN整備工事(12校)<br>・教師用タブレット・提示装置等導入(モデル校を除く全クラス) | ・校務用PC更新<br>・ICT支援員配置(15校)<br>・生徒用無線LAN端末整備(普通教室におけるグループ学習用) | ・14校のPC教室のパソコン更新<br>ICT支援員配置(済)<br>・校務支援システム導入準備 | ・デジタル教科書の導入<br>・ICT支援員配置14校(済)<br>・校務支援システム稼働開始<br>・新学習指導要領(プログラミング教育)開始<br>・校内ネットワーク高速化(13校)<br>・1人1台端末整備(1,805台)<br>・貸与用モバイルルーター整備(250台) |     |
| うち現年度分事業費      | 1,050   | 53,330  | 41,086   | 105,363  | 313,709  |     |
| うち繰越分事業費       | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  |     |
| 総事業費(千円)       | 1,050   | 53,330  | 41,086   | 105,363  | 313,709  |     |

7. その他特記事項

・小中学校の情報教育の推進及び機器整備について、校長・教頭・教諭・学校事務職員と学校教育課の代表で「魚沼市立学校情報化推進委員会」を組織し、平成27年度から先進地視察や委員会を開催し、「魚沼市立学校情報教育推進計画」を策定しました。  
 ・文科省では平成32年までに児童生徒に1人1台のコンピュータを整備すること、「第2期教育振興基本計画」では機器の整備についての目標とされる水準(PC教室の整備、可動式コンピュータ1校40台、4校に1人のICT支援員の配置等)を示していますが、魚沼市ではこれらを達成できていないのが現状です。国はこの目標水準の達成に必要な所要額として、5年間(2018年~2022年)単年度1,805億円の地方交付税の財政措置が講じられています。  
 ・子どもたちがこれからの情報化社会で「生きる力」を身につけさせるためにもICT機器を活用した教育を進めることが必要となります。このため、推進体制の充実と機器の整備を計画的に行い情報教育の推進に取り組みます。

8. 事後評価(担当課評価)

| 施策への貢献度                    | 施策名  | 貢献度                          |                              | 施策に対してどのように貢献したか |
|----------------------------|--|------------------------------|------------------------------|------------------|
|                            |  | 【5-3-3】<br>安全・安心な学校施設の整備     | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い | 高い               |
|                            |  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い |                              |                  |
|                            |  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い |                              |                  |
| 次年度に向けて改善すべき事項やさらに取り組むべき事項 | GIGAスクール構想の前倒しにより、授業におけるICT活用が加速されることが予想されます。今後は、教職員への研修やサポートをより手厚くする必要があるほか、家庭学習への応用も見据えて児童生徒に対する情報セキュリティ教育も重要です。 |                              |                              |                  |

| 事業の格付け(ポジショニング) |  | 評価の理由 |  |
|-----------------|--|-------|--|
| 事業の成果           | S:目標達成超過<br>A:目標達成<br>B:相当程度進展あり<br>C:進展が大きくない<br>D:目標に向かっていない   | S     | 校務支援システムの導入、小学校全校への外国語の指導者用デジタル教科書の整備、GIGAスクール構想による1人1台端末の整備のほか、Zoomを活用した遠隔会議や学校行事のネット配信も一部で始まるなど、この1年で学校の情報化が当初の計画を大幅に上回る成果を上げています。 |
| 令和4年度事業の方向性     | GIGAスクール構想のためにハード面の運用方法等について、令和3年度よりGIGAスクール推進チームを立ち上げ、研修、運用方法策定、要望解消に努め、令和4年度も引続き、推進チームを中心にGIGAスクール構想の実現に取り組んでいきます。 |       |  |
| 外部評価            | 学校授業におけるICT機器活用の加速化、教員の研修の充実、家庭学習の応用と幅広い分野での活動に期待します。教員のスキル向上と児童生徒の情報モラルの確保に努め、事業を充実させてください。                         |       |  |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |   |         |                            |      |    |     |                  |
|----------|---|---------|----------------------------|------|----|-----|------------------|
| No       | 446   | 事務事業名   | 図書館管理運営事業                  |      |    | 担当課 | 生涯学習課            |
|          |   |         |                            |      |    | 担当係 | 社会教育係            |
| ハード/ソフト  | ■ソフト  | 根拠法令等   | 図書館法、魚沼市図書館条例、魚沼市図書館条例施行規則 | 会計区分 | 会計 | 一般  | 担当課長氏名           |
| 開始年度     | 平成 28 年度                                      |         |                            |      | 款  | 10  | 担当者氏名            |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度                                       |         |                            |      | 項  | 4   | 連絡先(TEL・IP)      |
| 実施方法     | ■直営   | 対象者及び人数 | 全市民<br>人                   |      | 目  | 3   | 総事業費<br>(H28～R2) |
|          |   |         |                            |      | 事業 |     | 244,306 (千円)     |
| 事業概要     | 市民の教育、文化の発展に寄与するため小出郷、広神図書館及び公民館図書室の管理運営をします。 |         |                            |      |    |     |                  |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |              |   |
|-------|----------------------|--------------|---|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針(施策の内容) | 社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を整備し、効果的な活用を図ります。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 1 — 3 )        |              |   |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |             |         |                   |
|--------|-------------|---------|-------------------|
| ■計画の名称 | 魚沼市生涯学習推進計画 | ■施策の内容等 | 効率的・効果的な生涯学習施設の運営 |
|--------|-------------|---------|-------------------|

|            |                   |  |
|------------|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ | ■戦略番号             |  |
|            | ■戦略の方向            |  |
|            | ■主な施策             |  |
|            | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |   |            |   |
|------------|---|------------|---|
| 事業実施における課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数が伸び悩んでいます</li> <li>・小出郷図書館は老朽化が進んでおり、駐車場も少ない状態です</li> <li>・元々図書館でない建物を使用しているため、書架の配置や読み聞かせスペース等の防音対策などに工夫が必要です</li> <li>・広神図書館は中央図書館としては閲覧場所が十分でなく、図書の保管スペースも少ないです</li> </ul> | 課題解決に向けた方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な図書館事業を計画します</li> <li>・図書館事業を周知するために、広報の方法を検討し、事業参加者数の増加を図ります</li> <li>・図書館を居心地の良い空間にします</li> <li>・マイナンバーカードを利用した貸出ができるように図書館システムを改修し、マイナンバーカード作成者に図書館利用を促します</li> </ul> |
|------------|---|------------|---|

5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目          | H28実績/目標<br>(達成率)        | H29実績/目標<br>(達成率)        | H30実績/目標<br>(達成率)        | R1実績/目標<br>(達成率)         | R2実績/目標<br>(達成率)         | 単位 | 備考(説明・計算式)             |
|-------------------------------|-------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----|------------------------|
| 活動指標                          | 来館者数(貸出者人数) | 50,878/55,200<br>(90.7%) | 49,390/55,400<br>(89.2%) | 47,756/55,600<br>(85.9%) | 46,579/55,800<br>(83.5%) | 42,470/56,000<br>(75.8%) | 人  | 5年で1,000人程度の増加を目標とします。 |
|                               |             | /                        | /                        | /                        | /                        | /                        |    |                        |
|                               |             | ( % )                    | ( % )                    | ( % )                    | ( % )                    | ( % )                    |    |                        |
|                               |             | /                        | /                        | /                        | /                        | /                        |    |                        |
|                               |             | ( % )                    | ( % )                    | ( % )                    | ( % )                    | ( % )                    |    |                        |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |             |                          |                          |                          |                          |                          |    |                        |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8                                       | H 2 9   | H 3 0  | R 1   | R 2  | 備 考 |
|----------------|---|---|--|---|--|-----|
|                | 決算額   | 決算額   | 決算額  | 決算額   | 決算額  |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | ・絵本ライブ<br>・読み聞かせ事業<br>・ブックスタート<br>・図書館協議会運営 | ・絵本ライブ<br>・読み聞かせ事業<br>・ブックスタート<br>・図書館協議会運営<br>・図書館システム更新 | ・絵本ライブ<br>・読み聞かせ事業<br>・ブックスタート<br>・図書館協議会運営<br>・改修工事 | ・絵本ライブ<br>・読み聞かせ事業<br>・ブックスタート<br>・図書館協議会運営 | ・読み聞かせ事業<br>・ブックスタート<br>・図書館協議会運営<br>・湯之谷図書室開設<br>・小出郷図書館改修工事に係る設計委託業務 |     |
| うち現年度分事業費      | 35,296                                      | 36,192  | 83,755   | 42,365                                      | 46,698   |     |
| うち繰越分事業費       | 0   | 0   | 0  | 0   | 0  |     |
| 総事業費（千円）       | 35,296                                      | 36,192  | 83,755   | 42,365                                      | 46,698   |     |

7. その他特記事項

|  |
|--|
| 図書館システムのマイナンバーカード対応について、令和2年3月に改修しました。 |
|--|

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策への貢献度                        | 施策名   | 貢献度                          | 施策に対してどのように貢献したか |   |
|--------------------------------|---|------------------------------|------------------|---|
|                                | 【5-1-3】<br>効率的・効果的な施設運営   | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い | やや高い             | 各種図書館サービスの提供や子どもから大人までの幅広い層に向けた行事を実施することにより、効果的な生涯学習施設として運営ができたと思います。 |
|                                |   | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い |                  |   |
|                                |   | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い |                  |   |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項 | 図書館利用者の減少を食い止めるため、図書館サービスの向上と図書館行事の充実を検討します。令和3年度から湯之谷公民館図書室を開設することで図書サービスの地域格差を軽減し、さらに、貸出冊数の増冊等を検討することにより、サービスの拡充を図ります。小出郷図書館の建物については、令和3年度に3・4階の改修工事が予定されており、その際に配架等を見直し、より利用しやすい空間をつくれるように検討します。 |                              |                  |   |

| 事業の格付け（ポジショニング） |  | 評価の理由  |
|-----------------|--|--|
| 事業の成果           | S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きくない<br>D：目標に向かっていない   | C<br>目標値は、5年間で1,000人の来館者の増加を目指すという設定でしたが、来館者数は伸び悩み、年々減少している結果となったことから、大きな進展がなかったといえます。 |
| 令和4年度事業の方向性     | 図書館利用者を増やすために、図書館サービスや図書館行事を充実させる必要があります。令和3年度から「魚沼市子ども読書活動推進計画」が策定され、地域や学校・保育園等と連携し、子どもたちの読書活動の推進に努める取組みを模索し、子どもだけでなく大人へも本を親しむ機会を提供することで図書館利用を促したいと考えます。また、館内の利便性を向上させるため、配架の見直しや図書の整理を行い、利用しやすい空間を目指します。 |  |
| 外部評価            | <b>図書館は生涯学習活動の拠点です。図書館利用者増加をめざすための努力は評価しますが、今後は施設の充実を含め、市民に利用しやすいハード、ソフト両面での整備・拡充が課題と思います。</b>   |  |

## 【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

### 1. 事務事業基本情報

|          |  |         |                   |      |    |     |                  |              |
|----------|--|---------|-------------------|------|----|-----|------------------|--------------|
| No       | 451  | 事務事業名   | 埋蔵文化財調査活用事業       |      |    | 担当課 | 生涯学習課            |              |
|          |  |         |                   |      |    | 担当係 | 文化財係             |              |
| ハード/ソフト  | ■ソフト   | 根拠法令等   | 文化財保護法            | 会計区分 | 会計 | 一般  | 担当課長氏名           |              |
| 開始年度     | 平成 28 年度   |         |                   |      | 款  | 10  | 担当者氏名            |              |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度  |         |                   |      | 項  | 4   | 連絡先(TEL・IP)      |              |
| 実施方法     | ■直営  | 対象者及び人数 | 市民、開発事業者、研究者<br>人 | 事業   | 目  | 4   | 総事業費<br>(H28~R2) | 256,956 (千円) |
|          |  |         |                   |      |    |     |                  |              |
| 事業概要     | 市内に所在する埋蔵文化財保護のため、開発行為などで破壊される遺跡の記録・保存をします。<br>市指定史跡黒姫洞窟遺跡の国史跡登録を目指し、記録・保存を行い、成果を積み上げていきます。<br>発掘調査で得られた資料・記録の整理・分析・研究を行い、遺跡の性格解明及び調査報告書を定期的に刊行していきます。<br>発掘調査成果物の収納・管理を図りながら、展示して市民に公開し、地元の歴史への理解と関心を高めていきます。 |         |                   |      |    |     |                  |              |

### 2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |                  |  |
|-------|----------------------|------------------|--|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針<br>(施策の内容) | 市内に存在する文化財を地域資源として広く公開し、施設整備を含め、子どもたちをはじめ市民が学ぶ機会を積極的に設けるなどの有効な活用を図り、郷土の歴史・文化に関する認識を深め、市民全体で保護・継承し、発信していく意識を高めます。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 4 — 3 )        |                  |  |

### 3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |                      |         |                                    |
|--------|----------------------|---------|------------------------------------|
| ■計画の名称 | 生涯学習推進計画<br>文化ビジョン21 | ■施策の内容等 | 文化財の調査、整理、啓蒙啓発<br>文化財の展示、公開活用事業の推進 |
|--------|----------------------|---------|------------------------------------|

|   |                   |                                      |
|---|-------------------|--------------------------------------|
| 総合戦略での位置づけ  | ■戦略番号             | 戦略1 地域の経済を元気にし、魚沼で暮らし続けられる「しごと」をつくる。 |
|   | ■戦略の方向            | 1-(6) 再チャレンジできる就業環境の整備               |
|   | ■主な施策             | 1-(6)-① シニア世代の活用と就労支援                |
|   | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |                                      |
| 子どもたちが貴重な文化財に触れ学ぶことにより、自分の暮らす地域に誇りを持ち、文化を継承していく大切さを自覚することで、次世代を担う地域社会の一員としての意識を形作るための一助となります。また、遺跡から出土した資料は、地域の特性が色濃く反映されたものであり、地域のアイデンティティとなるものです。整理された資料を展示活用していくことで、地域の歴史に親しみ、誇りを持つことができます。また、地域づくりや観光資源としても活用できます。例えば当市出土の火焔型土器は魚沼市を市外へ、世界へ発信できる可能性を秘めています。 |                   |                                      |

### 4. 事業実施に向けた課題

|            |   |            |  |
|------------|---|------------|--|
| 事業実施における課題 | 本調査では安全管理を含め、責任者不在とならぬよう現場への職員複数人の配置が必要とされています。試掘調査、本調査に分かれての調査では1人体制となるため、安全管理を念頭に入れた打開策を打ち立てる必要があります。<br>収蔵施設について、出土遺物の保管場所が手狭になってきており、整備検討する必要があります。 | 課題解決に向けた方策 | 今後、数年間の埋蔵文化財発掘調査事業が確定していることから、職員体制の再編もしくは管理体制を強化し民間導入の検討を行い、解決にむけて取り組んでいきます。この課題が解決できれば、火焔街道、八十里越といった各関係市町村や関係機関との連携強化にも繋げることができます。<br>新庁舎建設後、収蔵施設となりうる空き施設の選定も必要です。 |
|------------|---|------------|--|

### 5. 指標の設定

| 指標種類  | 項目        | H28実績/目標<br>(達成率)   | H29実績/目標<br>(達成率)   | H30実績/目標<br>(達成率)   | R1実績/目標<br>(達成率)      | R2実績/目標<br>(達成率)  | 単位 | 備考(説明・計算式)                    |
|-------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|----|-------------------------------|
| 活動指標  | 報告書刊行     | 黒姫洞窟IV<br>第13集/1冊   | /                   | 谷内遺跡本調査<br>第15集/1冊  | 碓沢遺跡<br>第16集/1冊       | —                 | 冊  | 調査報告書の刊行                      |
| 活動指標  | 企画展・講座参加者 | 794/700<br>(113.0%) | 888/800<br>(111.0%) | 968/800<br>(121.0%) | 1,029/600<br>(171.5%) | 91/600<br>(15.2%) | 人  | 埋蔵文化財関係展示来場者、講座、講演会、里山まつり等参加者 |
|       |           | /                   | /                   | /                   | /                     | /                 |    |                               |
|       |           | ( % )               | ( % )               | ( % )               | ( % )                 | ( % )             |    |                               |
| □定性指標 |           |                     |                     |                     |                       |                   |    |                               |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8   | H 2 9   | H 3 0  | R 1  | R 2  | 備 考 |
|----------------|---|---|--|--|--|-----|
|                | 決算額   | 決算額   | 決算額  | 決算額  | 決算額  |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>確認調査</li> <li>黒姫調査</li> <li>谷内整理</li> <li>碓沢整理</li> <li>報告書作成</li> <li>資料活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>確認調査</li> <li>黒姫調査</li> <li>谷内整理</li> <li>碓沢整理</li> <li>報告書作成</li> <li>資料活用</li> <li>八十里越</li> <li>火焰街道</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>確認調査</li> <li>黒姫調査</li> <li>上原発掘</li> <li>大和沢発掘</li> <li>谷内整理</li> <li>碓沢整理</li> <li>報告書作成</li> <li>資料活用</li> <li>八十里越</li> <li>火焰街道</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>確認調査</li> <li>黒姫調査</li> <li>上原整理</li> <li>大和沢発掘</li> <li>碓沢整理</li> <li>報告書作成</li> <li>資料活用</li> <li>八十里越</li> <li>火焰街道</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>確認調査</li> <li>黒姫調査</li> <li>上原整理</li> <li>大和沢整理</li> <li>報告書作成</li> <li>資料活用</li> <li>八十里越</li> <li>火焰街道</li> </ul> |     |
| うち現年度分事業費      | 27,018  | 33,209  | 89,469   | 85,215   | 22,045   |     |
| うち繰越分事業費       | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  |     |
| 総事業費（千円）       | 27,018  | 33,209  | 89,469   | 85,215   | 22,045   |     |

7. その他特記事項

平成28年度から上原地区（小出）と大和沢地区（堀之内）ではほ場整備事業が開始され、これに伴い、平成30年度に上原遺跡、大和沢遺跡の本発掘調査を実施しています。和田横瀬地区（広神）、東中地区（広神）でも、ほ場整備事業があり試掘・確認調査費を実施しています。試掘調査の結果によっては、本発掘調査となる場合があります。

平成29年度から「信濃川火焰街道連携協議会」に加入し、魚沼市でも出土している火焰型土器（国内で出土するのは信濃川沿線のみ）を活かした広域連携、縄文文化の発信を行うこととし、協議会の負担金800千円を継続的に計上しています（魚沼市は追加登録として「日本遺産」に認定されました）。更に、「八十里越」の国史跡化に向け、三条市と福島県只見町と連携し史跡整備を行い、北部地区の振興のため盛り上げていきます。平成29年7月水害により八十里越に向かう橋の橋脚損壊や林道への被災があり、復旧するまでの間、現地調査を中止・延期していましたが、令和2年度から調査を開始しています。

上記を踏まえ、調整・調査・整理・研究・分析・活用・情報発信事業を効率的に行うためには、考古学分野における学芸員及びそれを補完する事務職員の増強が課題となっています。

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策への貢献度                        | 施策名   | 貢献度  |  | 施策に対してどのように貢献したか |
|--------------------------------|---|--|--|------------------|
|                                |   | 【5-4-3】<br>文化財の保護と活用   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高い</li> <li>やや高い</li> <li>やや低い</li> <li>低い</li> </ul> | <b>高い</b>        |
|                                |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高い</li> <li>やや高い</li> <li>やや低い</li> <li>低い</li> </ul> |  |                  |
|                                |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高い</li> <li>やや高い</li> <li>やや低い</li> <li>低い</li> </ul> |  |                  |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項 | 体制の強化に引き続き取り組んでいくとともに、空き施設の利用についても、早期に方向性を決める必要があります。また、感染症対策を実施したうえで、企画展や講演会などの実施に取り組む必要があります。 |  |  |                  |

| 事業の格付け（ポジショニング） |  | 評価の理由    |  |
|-----------------|--|----------|--|
| 事業の成果           | S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きくない<br>D：目標に向かっていない   | <b>A</b> | 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により指標を下回る結果となりましたが、それ以前の各年度は指標を上回る結果となっています。 |
| 令和4年度事業の方向性     | 今後多く、ほ場整備事業が計画されており、これに伴い広大な面積の埋蔵文化財調査が予定されています。これに対応するため、体制の強化を図る必要があります。また、空き庁舎を活用し文化財の主要な展示施設とすることで、市民はもとより市外へも市内文化財を広くPRしていく必要があります。 |          |  |
| 外部評価            | 開発行為に伴う埋蔵文化財の調査・整理だけでなく、国指定史跡登録を目指した事業に取り組んでいることは、市民が地元の歴史を知るためにも大切な視点と見ます。学芸員の確保や整理施設の充実など課題は多いですが、文化財の啓発活動、展示など旧庁舎の整備に期待します。           |          |  |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |   |         |                              |      |    |     |                  |
|----------|---|---------|------------------------------|------|----|-----|------------------|
| No       | 455   | 事務事業名   | 宮柊二記念館運営事業                   |      |    | 担当課 | 生涯学習課            |
|          |   |         |                              |      |    | 担当係 | 社会教育係            |
| ハード/ソフト  | ■ソフト  | 根拠法令等   | 教育基本法、博物館法、魚沼市宮柊二記念館条例、同施行規則 | 会計区分 | 会計 | 一般  | 担当課長氏名           |
| 開始年度     | 平成 28 年度  |         |                              |      | 款  | 10  | 担当者氏名            |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度   |         |                              |      | 項  | 4   | 連絡先(TEL・IP)      |
| 実施方法     | ■直営   | 対象者及び人数 | 全市民<br>人                     |      | 目  | 5   | 総事業費<br>(H28~R2) |
| 事業概要     | 魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柊二（名誉市民）に関する資料を収集保管及び展示公開してその活用を図り、市民及び文化の向上に資するとともに、広く短歌の研究とその普及に寄与することを目指します。<br>事業内容：宮柊二記念館の管理運営、宮柊二資料の収集・保管、企画展示、全国短歌大会等の事業実施 |         |                              |      |    |     |                  |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |              |   |
|-------|----------------------|--------------|---|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針(施策の内容) | 社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を整備し、効果的な活用を図ります。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 1 — 3 )        |              |   |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |             |         |                   |
|--------|-------------|---------|-------------------|
| ■計画の名称 | 魚沼市生涯学習推進計画 | ■施策の内容等 | 効率的・効果的な生涯学習施設の運営 |
|--------|-------------|---------|-------------------|

|   |                   |  |
|---|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ  | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|   | ■戦略の方向            | 3-(3) 次の世代を担う子どもの育成                    |
|   | ■主な施策             | 3-(3)-② 地元ふるさと愛教育の推進                   |
|   | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 次の世代を担う子どもたちの育成のため、短歌大会を通して国語力の向上と感性を磨き、また、ふるさとを愛した歌人宮柊二を知ることにより、郷土に愛着と誇りを持つ人材を育成します。 |                   |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |   |            |  |
|------------|---|------------|--|
| 事業実施における課題 | 宮柊二記念館の来館者が少ない現状です。また、社会教育施設として、短歌学習を通して将来を担う子どもたちの育成を目指す必要があります。 | 課題解決に向けた方策 | 多くの人が魅力を感じるような企画、PRによる誘客の工夫をします。また、全国短歌大会の充実を目指し、魚沼市を全国に向けて発信するとともに、学校との連携により、施設の教育的活用を図ります。 |
|------------|---|------------|--|

5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目          | H28実績/目標<br>(達成率)         | H29実績/目標<br>(達成率)         | H30実績/目標<br>(達成率)         | R1実績/目標<br>(達成率)         | R2実績/目標<br>(達成率)         | 単位 | 備考(説明・計算式)          |
|-------------------------------|-------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|----|---------------------|
| 活動指標                          | 来館者数        | 832/700<br>(118.9%)       | 732/750<br>(97.6%)        | 575/750<br>(93.4%)        | 569/750<br>(75.9%)       | 348/750<br>(46.4%)       | 人  | H26入館者数の実績を目標とします。  |
| 活動指標                          | 全国短歌大会応募作品数 | 12,661/12,000<br>(106.5%) | 12,278/12,000<br>(102.3%) | 12,249/12,000<br>(101.7%) | 11,370/12,000<br>(94.8%) | 10,533/12,000<br>(88.6%) | 首  | H26短歌大会応募実績を目標とします。 |
|                               |             | /                         | /                         | /                         | /                        | /                        |    |                     |
|                               |             | ( % )                     | ( % )                     | ( % )                     | ( % )                    | ( % )                    |    |                     |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |             |                           |                           |                           |                          |                          |    |                     |

## 6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分                 | H 2 8                         | H 2 9   | H 3 0                         | R 1                           | R 2                           | 備 考 |
|--------------------|-------------------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----|
|                    | 決算額                           | 決算額   | 決算額                           | 決算額                           | 決算額                           |     |
| 主な活動内容・<br>年度毎の工程等 | 企画展示<br>全国短歌大会<br>短歌教室<br>講演会 | 企画展示<br>全国短歌大会<br>短歌教室<br>講演会<br><br>空調機冷却塔取<br>替工事 | 企画展示<br>全国短歌大会<br>短歌教室<br>講演会 | 企画展示<br>全国短歌大会<br>短歌教室<br>講演会 | 企画展示<br>全国短歌大会<br>短歌教室<br>講演会 |     |
| うち現年度分事業費          | 8,473                         | 10,918  | 8,462                         | 9,191                         | 10,015                        |     |
| うち繰越分事業費           | 0                             | 0   | 0                             | 0                             | 0                             |     |
| 総事業費(千円)           | 8,473                         | 10,918  | 8,462                         | 9,191                         | 10,015                        |     |

## 7. その他特記事項

コロナウイルス感染症対策及び老朽化による小規模改修を実施しています。また、感染症対策としてイベントや講演会、短歌教室等は外部施設(公民館などの広い会場)で実施しています。

## 8. 事後評価(担当課評価)

| 施策への<br>貢献度                    | 施策名 | 貢献度  |                              | 施策に対してどのように貢献したか |
|--------------------------------|-----|--|------------------------------|------------------|
|                                |     | 【5-1-3】<br>効果的・効果的な施設運営                        | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い | やや高い             |
|                                |     | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い                   |                              |                  |
|                                |     | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い                   |                              |                  |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項 |     | 短歌文化を広めるとともに、宮柵二記念館を短歌学習の拠点施設としての利用促進を図っていきます。 |                              |                  |

| 事業の格付け(ポジショニング)         |   | 評価の理由   |
|-------------------------|---|---|
| 事業の<br>成果               | S:目標達成超過<br>A:目標達成<br>B:相当程度進展あり<br>C:進展が大きくない<br>D:目標に向かっていない  | B<br>市内各校へ働きかけ、出張短歌教室を開催するなどし、普及活動を行っています。短歌大会では、市民の応募者、受賞者とも増加傾向にあります。 |
| 令和4<br>年度事<br>業の方<br>向性 | 新しい生活様式を意識しながら、事業の拡充を目指します。   |   |
| 外部<br>評価                | 宮柵二 全国短歌大会での全国からの応募件数が1万件を超えたことや、展示や企画の工夫で来館者の増加に努めたことは評価できます。また、学校での短歌教室は生徒にとって大きな刺激になります。本事業を通じて地元小中高校との連携を深めてください。 |   |

## 【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

### 1. 事務事業基本情報

|          |   |         |            |    |    |              |             |
|----------|---|---------|------------|----|----|--------------|-------------|
| No       | 460   | 事務事業名   | 市民スポーツ普及事業 |    |    | 担当課          | 生涯学習課       |
|          |   |         |            |    |    | 担当係          | 社会体育係       |
| ハード/ソフト  | ■ソフト  | 根拠法令等   | スポーツ基本法    | 会計 | 一般 | 担当課長氏名       |             |
| 開始年度     | 平成 28 年度  |         |            | 款  | 10 | 担当者氏名        |             |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度   |         |            | 項  | 5  | 連絡先(TEL・IP)  |             |
| 実施方法     | ■一部委託   | 対象者及び人数 | 全市民        | 目  | 1  | 総事業費(H28~R2) | 60,919 (千円) |
|          |   |         | 人          | 事業 |    |              |             |
| 事業概要     | 気軽に参加できるスポーツフェスティバルを開催することで、市民の健康増進とスポーツ実施率の向上を目指します。 |         |            |    |    |              |             |

### 2. 総合計画上の位置づけ

|       |                      |              |   |
|-------|----------------------|--------------|---|
| ■基本目標 | 【教育文化】私たちが育む学びのまちづくり | ■取組方針(施策の内容) | 子どもから高齢者まで、スポーツ活動やレクリエーションに参加でき、健康増進や生きがいづくり、そして地域も元気になる生涯スポーツの推進を図ります。 |
| ■施策番号 | ( 5 — 5 — 1 )        |              |   |

### 3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |             |         |   |
|--------|-------------|---------|---|
| ■計画の名称 | 魚沼市スポーツ推進計画 | ■施策の内容等 | 「誰でも」「いつでも」「どこでも」そして「いつまでも」市民が自主的・自立的にスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会を目指します。 |
|--------|-------------|---------|---|

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ   | ■戦略番号             | 戦略4 早期に人口減少社会への対策を図り、安心して暮らし続けられる「まち」をつくる。 |
|  | ■戦略の方向            | 4-(1) 医療介護等の社会保障費の増大の防止                    |
|  | ■主な施策             | 4-(1)-① 健康寿命の延伸化対策の推進                      |
|  | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 多くの市民がスポーツに親しむことができれば、魅力あるまちづくりに資することができ、人口流出に役立ちます。 |                   |  |

### 4. 事業実施に向けた課題

|            |  |            |  |
|------------|--|------------|--|
| 事業実施における課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康運動教室等の参加者が継続して運動やスポーツに親しむ習慣づくりが必要です。</li> <li>運動やスポーツをする場所の提供や、スポーツ団体など受皿づくりが必要です。</li> <li>運動教室等の参加者の拡充が必要です。</li> </ul> | 課題解決に向けた方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ協会や総合型スポーツクラブとの連携強化を図り、事業の見直しや新たな事業を実施すべく検討していきます。</li> <li>スポーツの普及に向けての積極的な啓発活動を進めていきます。</li> <li>施設設備の整備・充実や利用の啓発を行っていきます。</li> </ul> |
|------------|--|------------|--|

### 5. 指標の設定

| 指標種類  | 項目                | H28実績/目標(達成率)              | H29実績/目標(達成率)              | H30実績/目標(達成率)              | R1実績/目標(達成率)               | R2実績/目標(達成率)               | 単位 | 備考(説明・計算式)                                     |
|-------|-------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----|--|
| 活動指標  | 参加者数              | 9,072/11,000<br>(90.7%)    | 9,677/10,000<br>(96.8%)    | 8,168/10,000<br>(81.6%)    | 7,700/10,000<br>(77.0%)    | 8,014/10,000<br>(80.1%)    | 人  | 市民スポーツフェスティバル及びeスポに委託している各種教室等の参加者数            |
| 活動指標  | 日常の運動実施回数(施設利用者数) | 255,242/256,000<br>(99.7%) | 241,375/256,000<br>(94.3%) | 245,329/256,000<br>(95.8%) | 218,408/256,000<br>(85.3%) | 167,895/256,000<br>(65.6%) | 人  | 体育館等の屋内体育施設、野球場・テニスコート・グラウンド等の屋外体育施設の個人利用者延べ人数 |
|       |                   | /                          | /                          | /                          | /                          | /                          |    |  |
|       |                   | ( % )                      | ( % )                      | ( % )                      | ( % )                      | ( % )                      |    |  |
| □定性指標 |                   |                            |                            |                            |                            |                            |    |  |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分                 | H 2 8  | H 2 9  | H 3 0  | R 1  | R 2  | 備 考 |
|--------------------|--|--|--|--|--|-----|
|                    | 決算額  | 決算額  | 決算額  | 決算額  | 決算額  |     |
| 主な活動内容・<br>年度毎の工程等 | 市民スポーツフェスティバル事業委託料<br>寿和温泉水泳教室Eスポ業務委託<br>ジュニアクロカン大会<br>スキーリフトシーズン券補助 | 市民スポーツフェスティバル事業委託料<br>寿和温泉水泳教室Eスポ業務委託<br>ジュニアクロカン大会<br>スキーリフトシーズン券補助 | 市民スポーツフェスティバル事業委託料<br>寿和温泉水泳教室Eスポ業務委託<br>ジュニアクロカン大会<br>スキーリフトシーズン券補助 | 市民スポーツフェスティバル事業委託料<br>寿和温泉水泳教室Eスポ業務委託<br>ジュニアクロカン大会<br>スキーリフトシーズン券補助 | 市民スポーツフェスティバル事業委託料<br>寿和温泉水泳教室Eスポ業務委託<br>ジュニアクロカン大会<br>スキーリフトシーズン券補助 |     |
| うち現年度分事業費          | 12,767   | 13,081   | 13,114   | 10,457   | 11,500   |     |
| うち繰越分事業費           | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |     |
| 総事業費（千円）           | 12,767   | 13,081   | 13,114   | 10,457   | 11,500   |     |

7. その他特記事項

スポーツフェスティバル等体協や総合型スポーツクラブへの委託事業について、スポーツやレクリエーションの普及をより推進するため、事業内容見直しを図ります。

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策への貢献度                        | 施策名  | 貢献度                             | 施策に対してどのように貢献したか                                |
|--------------------------------|--|---------------------------------|---|
|                                |  | 【5-5-1】<br>誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進 | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い<br><br><b>やや高い</b> |
|                                |  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い    |   |
|                                |  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い    |   |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項 | スポーツ協会や総合型スポーツクラブとの連携強化を図り、事業の見直しや新たな事業を実施すべく検討していきます。<br>スポーツの普及に向けての積極的な啓発活動を進めていきます。<br>施設設備の整備・充実や利用の啓発を行っていきます。 |                                 |   |

| 事業の格付け（ポジショニング） |   | 評価の理由  |
|-----------------|---|--|
| 事業の成果           | S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きくない<br>D：目標に向かっていない<br><br><b>C</b>  | 各団体主導による事業運営により、市民がスポーツへの参加をしやすいような各種教室や大会等の場を提供することができましたが、人口減少や2年続けた新型コロナウイルス感染症の影響により、進展ありと判断するに至りませんでした。 |
| 令和4年度事業の方向性     | エンジョイスportsクラブ魚沼に委託している健康運動教室等は、施設の指定管理を活かした事業展開により、市民スポーツの普及に大きく寄与しています。引き続き市民スポーツの普及と運動実施率向上に向けた教室等の充実を図っていきます。<br>スポーツ協会に委託している市民スポーツフェスティバルについては、スポーツ初心者や未経験者でも気軽にスポーツに参加しやすい内容となるよう、受託者とともに内容の見直しを検討していきます。<br>施設の利用に関しても仕組みの見直しやさらなる広報活動を検討します。 |  |
| 外部評価            | <b>市民スポーツの普及活動は、市民の健康増進、健康寿命の延伸に寄与し、スポーツへの親しみ、参加者のコミュニケーションの場としても重要であり、人口流出防止、住みよい郷土づくりに向けた大切な事業です。本事業の取り組みは、市だけでなく各種団体の活用も含め努力が見られます。今後は障害の有無に関わらず市民が気軽に参加できるプログラムの開発など新たな工夫が望まれます。</b>  |  |

## 【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

### 1. 事務事業基本情報

|          |  |         |   |      |    |                  |             |  |
|----------|--|---------|---|------|----|------------------|-------------|--|
| No       | 139  | 事務事業名   | ひとり親家庭等医療費助成事業                          |      |    | 担当課              | 子ども課        |  |
|          |  |         |   |      |    | 担当係              | 児童福祉係       |  |
| ハード/ソフト  | ■ソフト   | 根拠法令等   | 魚沼市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例、条例施行規則           | 会計区分 | 一般 | 担当課長氏名           |             |  |
| 開始年度     | 平成 28 年度   |         |   |      | 款  | 3                | 担当者氏名       |  |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度  |         |   |      | 項  | 2                | 連絡先(Tel・IP) |  |
| 実施方法     | ■補助・助成   | 対象者及び人数 | 高校卒業までの子を養育している母子、父子、養育者世帯の子と親<br>768 人 | 目    | 2  | 総事業費<br>(H28～R2) | 78,758 (千円) |  |
| 事業概要     | 市内に住所を有するひとり親家庭等の母又は父及び児童を対象に、保険診療にかかる自己負担額のうち、一部負担金(通院530円/回、入院1,200円/日)を除いた額を助成します。また、魚沼市独自の助成として、児童は入院一部負担金を無料としています。 |         |   |      |    |                  |             |  |

### 2. 総合計画上の位置づけ

|       |                               |              |   |
|-------|-------------------------------|--------------|---|
| ■基本目標 | 【健康福祉】生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり | ■取組方針(施策の内容) | 育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。<br>妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターが連携し、情報の発信を行う体制づくりとその確立に努めます。 |
| ■施策番号 | ( 3 — 2 — 1 )                 |              |   |

### 3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |  |         |
|--------|--|---------|
| ■計画の名称 |  | ■施策の内容等 |
|--------|--|---------|

|            |                   |  |
|------------|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|            | ■戦略の方向            | 3-(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援            |
|            | ■主な施策             | 3-(2)-② 安心して出産できる環境整備と子育て支援の充実         |
|            | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |

### 4. 事業実施に向けた課題

|            |                            |            |                                 |
|------------|----------------------------|------------|---------------------------------|
| 事業実施における課題 | 受給要件を満たしていても、申請していない人がいます。 | 課題解決に向けた方策 | 市報・ホームページなどで周知し、申請漏れないように注意します。 |
|------------|----------------------------|------------|---------------------------------|

### 5. 指標の設定

| 指標種類  | 項目   | H28実績/目標<br>(達成率)   | H29実績/目標<br>(達成率)   | H30実績/目標<br>(達成率)   | R1実績/目標<br>(達成率)    | R2実績/目標<br>(達成率)    | 単位 | 備考(説明・計算式)     |  |
|-------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----|----------------|--|
| 活動指標  | 受給者証更新申請件数                                   | 100/100<br>(100.0%) | 100/100<br>(100.0%) | 100/100<br>(100.0%) | 100/100<br>(100.0%) | 100/100<br>(100.0%) | %  | 更新期限内に更新申請した件数 |  |
|       |  | /                   | /                   | /                   | /                   | /                   |    |                |  |
|       |  | ( % )               | ( % )               | ( % )               | ( % )               | ( % )               |    |                |  |
|       |  | /                   | /                   | /                   | /                   | /                   |    |                |  |
|       |  | ( % )               | ( % )               | ( % )               | ( % )               | ( % )               |    |                |  |
| ■定性指標 | 対象となる方全員が受給者証交付(更新)申請書を提出し、制度を利用出来ることを目指します。 |                     |                     |                     |                     |                     |    |                |  |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分                 | H 2 8              | H 2 9              | H 3 0              | R 1                | R 2                | 備 考 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----|
|                    | 決算額                | 決算額                | 決算額                | 決算額                | 決算額                |     |
| 主な活動内容・<br>年度毎の工程等 | ひとり親家庭等医療費一部負担金の助成 | ひとり親家庭等医療費一部負担金の助成 | ひとり親家庭等医療費一部負担金の助成 | ひとり親家庭等医療費一部負担金の助成 | ひとり親家庭等医療費一部負担金の助成 |     |
| うち現年度分事業費          | 17,065             | 15,381             | 15,451             | 15,844             | 15,017             |     |
| うち繰越分事業費           | 0                  | 0                  | 0                  | 0                  | 0                  |     |
| 総事業費(千円)           | 17,065             | 15,381             | 15,451             | 15,844             | 15,017             |     |

7. その他特記事項

|   |
|---|
| 令和3年1月1日より、子どもにかかる医療費の自己負担額（一部負担金）を全額助成し、無償化しました。 |
|---|

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策への貢献度                        | 施策名  | 貢献度  |      | 施策に対してどのように貢献したか                      |
|--------------------------------|--|--|------|---------------------------------------|
|                                | 【3-2-1】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | やや高い | 対象となる保護者の方への経済的な負担軽減を図り、子育て支援に貢献しました。 |
|                                | 子育て支援  |  |      |                                       |
|                                |  |  |      |                                       |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |  |      |                                       |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |  |      |                                       |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組みべき事項 | 窓口との連携を図り、申請漏れのないように確認を徹底します。  |  |      |                                       |

| 事業の格付け（ポジショニング） |   | 評価の理由  |
|-----------------|---|--|
| 事業の成果           | S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きくない<br>D：目標に向かっていない                                      | A<br>対象となる方全員に受給者証を交付し、医療費助成制度を利用させていただきました。 |
| 令和4年度事業の方向性     | 申請漏れのないように関係機関と連携を図り、対象となる方全員が医療費助成制度を利用できるように努めます。   |  |
| 外部評価            | 本事業によって、ひとり親家庭における医療費の不安がなくなることは生活の安定化につながります。高校生世代までの児童生徒が安心して医療を受けることができるように対象者漏れの無いよう周知に努めてください。 |  |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |  |         |   |      |    |                  |             |
|----------|--|---------|---|------|----|------------------|-------------|
| No       | <b>重 172</b>   | 事務事業名   | <b>要保護児童相談・支援事業</b>                         |      |    | 担当課              | 子ども課        |
|          |  |         |   |      |    | 担当係              | 子育て支援センター   |
| ハード/ソフト  | ■ソフト   | 根拠法令等   | 児童福祉法、児童虐待の防止に関する法律<br>子ども子育て支援法、次世代育成支援推進法 | 会計区分 | 会計 | 一般               | 担当課長氏名      |
| 開始年度     | 平成 28 年度   |         |   |      | 款  | 3                | 担当者氏名       |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度  |         |   |      | 項  | 2                | 連絡先(TEL・IP) |
| 実施方法     | ■直営  | 対象者及び人数 | 18歳未満の児童とその保護者<br>9,000 人                   | 目    | 6  | 総事業費<br>(H28~R2) | 6,419 (千円)  |
| 事業概要     | 要保護児童（被虐待児童）相談支援及び要支援産婦相談支援の実施等により児童虐待の防止を図ります。児童虐待に関わる福祉、医療、教育など多岐にわたる機関で適切な援助のための要保護児童対策地域協議会を開催します。 |         |   |      |    |                  |             |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                               |                  |   |
|-------|-------------------------------|------------------|---|
| ■基本目標 | 【健康福祉】生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり | ■取組方針<br>(施策の内容) | 育兒不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。<br>妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターが連携し、情報の発信を行う体制づくりとその確立に努めます。 |
| ■施策番号 | ( 3 — 2 — 1 )                 |                  |   |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |               |         |   |
|--------|---------------|---------|---|
| ■計画の名称 | 子ども・子育て支援事業計画 | ■施策の内容等 | 虐待の発生を未然に防ぐため、健康診査や保健指導等の母子保健活動や地域の医療機関との連携をすすめます。また、問題を抱える家庭等への効果的な支援など関係機関との連携により問題解決を図ります。 |
|--------|---------------|---------|---|

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ   | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|  | ■戦略の方向            | 3-(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援            |
|  | ■主な施策             | 3-(2)-② 安心して出産できる環境整備と子育て支援の充実         |
|  | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 福祉、保健、医療、教育などの関係機関と連携し、児童虐待の防止対策と問題を抱える家庭への相談・援助に取り組むことで、子育て支援の充実に寄与しています。 |                   |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |   |            |  |
|------------|---|------------|--|
| 事業実施における課題 | 児童虐待に関わる機関は福祉、保健、医療、教育など多岐にわたり、適切な援助のためには関係機関の連携・協力の中で、それぞれの機関の役割を明確にし、十分理解し合った上で対応していかなければなりません。<br>子育て支援センターが就学前の児を対象としていることから、要対協の18歳未満と対象が異なり、小学生以上と児童保護者への対応が担当保育士では困難となっています。また、施設的にオープンスペースの支援センターでは、個人情報の保護に対して特に配慮が必要です。 | 課題解決に向けた方策 | 市要保護児童対策地域協議会による関係部署が代表者会議等を通じ連携し、虐待予防を推進していきます。<br>児童相談所との連携強化を図り、日常的なケース把握や進行管理等の対応能力などスキルアップを図っていきます。<br>平成32年度までに市町村に設置努力義務が課せられた「子育て世代包括支援センター」開設と併せて、協議会運営体制についても検討します。<br>特に保健師の配置について関係部署と協議が必要です。 |
|------------|---|------------|--|

5. 指標の設定

| 指標種類  | 項目   | H28実績/目標<br>(達成率) | H29実績/目標<br>(達成率) | H30実績/目標<br>(達成率) | R1実績/目標<br>(達成率) | R2実績/目標<br>(達成率) | 単位 | 備考(説明・計算式) |
|-------|--|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|----|------------|
|       |  | /                 | /                 | /                 | /                | /                |    |            |
|       |  | ( % )             | ( % )             | ( % )             | ( % )            | ( % )            |    |            |
|       |  | /                 | /                 | /                 | /                | /                |    |            |
|       |  | ( % )             | ( % )             | ( % )             | ( % )            | ( % )            |    |            |
|       |  | /                 | /                 | /                 | /                | /                |    |            |
|       |  | ( % )             | ( % )             | ( % )             | ( % )            | ( % )            |    |            |
| ■定性指標 | ・支援が必要な家庭への適切なアドバイスと関係機関との調整<br>・要保護児童の確実な把握と適切な対応 |                   |                   |                   |                  |                  |    |            |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8                                   | H 2 9                                   | H 3 0                                   | R 1                                     | R 2                                     | 備 考 |
|----------------|---|---|---|---|---|-----|
|                | 決算額                                     | 決算額                                     | 決算額                                     | 決算額                                     | 決算額                                     |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | 要保護児童(被虐待児童)相談支援、要支援産婦相談支援、要保護児童対策協議会運営 | 要保護児童(被虐待児童)相談支援、要支援産婦相談支援、要保護児童対策協議会運営 | 要保護児童(被虐待児童)相談支援、要支援産婦相談支援、要保護児童対策協議会運営 | 要保護児童(被虐待児童)相談支援、要支援産婦相談支援、要保護児童対策協議会運営 | 要保護児童(被虐待児童)相談支援、要支援産婦相談支援、要保護児童対策協議会運営 |     |
| うち現年度分事業費      | 1,820                                   | 47                                      | 76                                      | 1,991                                   | 2,485                                   |     |
| うち繰越分事業費       | 0                                       | 0                                       | 0                                       | 0                                       | 0                                       |     |
| 総事業費(千円)       | 1,820                                   | 47                                      | 76                                      | 1,991                                   | 2,485                                   |     |

7. その他特記事項

|  |
|--|
|  |
|--|

8. 事後評価(担当課評価)

| 施策への貢献度                        | 施策名              | 貢献度  | 施策に対してどのように貢献したか |   |
|--------------------------------|------------------|--|------------------|---|
|                                | 【3-2-1】<br>子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | やや高い             | 児童虐待を未然に防止するため、関係機関と連携を図り、支援の必要な家庭への働きかけを行いました。 |
|                                |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |                  |   |
|                                |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |                  |   |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項 |                  | 関係機関との情報共有等を密にして、全ケースの進行管理を行います。ケースに応じてきめ細かな支援を行い、適切な対応に努めます。<br>研修に積極的に参加してスタッフのスキルアップを図ります。    |                  |   |

| 事業の格付け(ポジショニング) |   | 評価の理由 |                               |
|-----------------|---|-------|-------------------------------|
| 事業の成果           | S:目標達成超過<br>A:目標達成<br>B:相当程度進展あり<br>C:進展が大きくない<br>D:目標に向かっていない  | B     | 定性指標をおおむね達成することができたものと評価しました。 |
| 令和4年度事業の方向性     | 児童福祉法の改正により、市区町村は令和4年度末までに市区町村子ども家庭総合支援拠点を整備に努めなくてはならないとされました。今後、拠点づくりに向け保健師等の専門人材の確保を図り、子育て世代包括支援センターと一体となり子どもの発達段階や家庭の状況等に応じて支援を継続的に実施できる体制づくりが急務であります。 |       |                               |
| 外部評価            | 児童相談所に繋がる以前の軽微なケースを幼稚園、保育園、小学校、中学校等と情報を共有しながら相談業務を行っており、児童虐待防止に大きく寄与し、セーフティネットになっていると思います。対応する職員が不足しているように思われますが、日頃の児童虐待防止の努力がみられ評価します。                   |       |                               |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |   |         |                |      |     |                  |             |  |
|----------|---|---------|----------------|------|-----|------------------|-------------|--|
| No       | 重 196   | 事務事業名   | 妊産婦医療費助成事業     |      |     | 担当課              | 子ども課        |  |
|          |   |         |                |      | 担当係 | 母子保健係            |             |  |
| ハード/ソフト  | ■ソフト  | 根拠法令等   | 魚沼市妊産婦医療費助成条例  | 会計区分 | 会計  | 一般               | 担当課長氏名      |  |
| 開始年度     | 平成 28 年度  |         |                |      | 款   | 4                | 担当者氏名       |  |
| 終了(予定)年度 | 令和 2 年度   |         |                |      | 項   | 1                | 連絡先(TEL・IP) |  |
| 実施方法     | ■直営   | 対象者及び人数 | 診療受診した市民である妊産婦 | 目    | 2   | 総事業費<br>(H28~R2) | 20,475 (千円) |  |
|          |   |         | 230 人          | 事業   | 3   |                  |             |  |
| 事業概要     | 妊産婦の疾病の早期発見・早期治療を促進し、母子保健の向上と福祉の増進を図るため、妊産婦が診療を受けた際に支払った保険適用分の医療費（高額療養費や付加給付等を控除した後の一部負担金）を助成します。<br>平成27年度までは、入院医療費の1/2を助成していましたが、平成28年度から通院も対象とし、平成29年度から妊娠・出産に直接関係する医療以外も対象とします。 |         |                |      |     |                  |             |  |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                               |                  |  |
|-------|-------------------------------|------------------|--|
| ■基本目標 | 【健康福祉】生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり | ■取組方針<br>(施策の内容) | 育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめています。<br>妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターが連携し、情報の発信を行う体制づくりとその確立に努めます。 |
| ■施策番号 | ( 3 — 2 — 1 )                 |                  |  |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |                              |         |                           |
|--------|------------------------------|---------|---------------------------|
| ■計画の名称 | 魚沼市子ども・子育て支援事業計画<br>(母子保健計画) | ■施策の内容等 | 安心して妊娠期を過ごし出産を迎えることができます。 |
|--------|------------------------------|---------|---------------------------|

|   |                   |  |
|---|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ  | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|   | ■戦略の方向            | 3-(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援            |
|   | ■主な施策             | 3-(2)-② 安心して出産できる環境整備と子育て支援の充実         |
|   | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 経済的な支援をすることにより、生活しやすく子どもを育てやすいまちとして魚沼市を意識定着ができます。<br>については、これから子どもを産み育てる世代の定住者を増やすとともに、子どもを産みたい（産める）という機運が高まり出生率の向上につながります。 |                   |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |  |            |   |
|------------|--|------------|---|
| 事業実施における課題 | ○助成申請のわずらわしさ<br>医療機関窓口で自己負担額が抑えられることは望ましいですが、他制度の控除分についての確認を医療機関に依頼することは難しいと思われます。受給者証交付で実施するには、対象件数も少なく、対象期間も短いため、効果は薄いと思われます。<br>○事業費の実態<br>診療にかかる費用について正確に算定できないため、事業費について過不足を生じることがあります。 | 課題解決に向けた方策 | 助成申請書を提出し償還払いとする方式を採っていますので、妊娠届出時において制度をわかりやすく説明し、領収書、診療明細書等必要な書類の保管や申請方法についての案内を丁寧に行います。 |
|------------|--|------------|---|

5. 指標の設定

| 指標種類  | 項目                         | H28実績/目標<br>(達成率) | H29実績/目標<br>(達成率) | H30実績/目標<br>(達成率) | R1実績/目標<br>(達成率) | R2実績/目標<br>(達成率) | 単位 | 備考(説明・計算式) |
|-------|----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|----|------------|
|       |                            | /                 | /                 | /                 | /                | /                |    |            |
|       |                            | ( % )             | ( % )             | ( % )             | ( % )            | ( % )            |    |            |
|       |                            | /                 | /                 | /                 | /                | /                |    |            |
|       |                            | ( % )             | ( % )             | ( % )             | ( % )            | ( % )            |    |            |
|       |                            | /                 | /                 | /                 | /                | /                |    |            |
|       |                            | ( % )             | ( % )             | ( % )             | ( % )            | ( % )            |    |            |
| ■定性指標 | 申請に対し、正確・公正な審査、迅速な助成を行います。 |                   |                   |                   |                  |                  |    |            |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8                   | H 2 9                             | H 3 0                   | R 1                     | R 2                           | 備 考 |
|----------------|-------------------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------------|-----|
|                | 決算額                     | 決算額                               | 決算額                     | 決算額                     | 決算額                           |     |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 | ○制度周知<br>○申請受付→点検→決定→助成 | ○制度周知<br>○申請受付→点検→決定→助成<br>(制度拡充) | ○制度周知<br>○申請受付→点検→決定→助成 | ○制度周知<br>○申請受付→点検→決定→助成 | ○制度周知<br>○保険支払機関への委託料、扶助費の支払い |     |
| うち現年度分事業費      | 2,346                   | 2,973                             | 2,633                   | 3,592                   | 8,931                         |     |
| うち繰越分事業費       | 0                       | 0                                 | 0                       | 0                       | 0                             |     |
| 総事業費(千円)       | 2,346                   | 2,973                             | 2,633                   | 3,592                   | 8,931                         |     |

7. その他特記事項

|   |
|---|
| <p>制度の変遷</p> <p>H16.11開始 妊娠に関わる入院費の半額を助成</p> <p>H28.4 妊娠に関わる治療について、入院費用のほか通院を含め医療費自己負担(3割)学の全額を助成</p> <p>H29.4 診療科制限を廃止。眼科、皮膚科等、妊娠に関わる治療以外も助成対象とする。(医療費自己負担額の全額助成)</p> <p>R2.5.1診療分から、現物給付(受給者証の発行による助成)を開始します。</p> |
|---|

8. 事後評価(担当課評価)

| 施策への貢献度                    | 施策名 | 貢献度  |  | 施策に対してどのように貢献したか |
|----------------------------|-----|--|--|------------------|
|                            |     | 【3-2-1】<br>子育て支援   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> | <b>高い</b>        |
|                            |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |  |                  |
|                            |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> <li>・やや高い</li> <li>・やや低い</li> <li>・低い</li> </ul> |  |                  |
| 次年度に向けて改善すべき事項やさらに取り組むべき事項 |     | 助成内容・方法についてわかりやすく周知をしていきます。  |  |                  |

| 事業の格付け(ポジショニング) |  | 評価の理由    |
|-----------------|--|----------|
| 事業の成果           | <p>S:目標達成超過</p> <p>A:目標達成</p> <p>B:相当程度進展あり</p> <p>C:進展が大きくない</p> <p>D:目標に向かっていない</p>              | <b>A</b> |
| 令和4年度事業の方向性     | 妊娠・出産に関わる経済的負担の軽減に向け、引き続き取り組んでいきます。  |          |
| 外部評価            | 地域の将来、発展を考えると一番大切な事業であると思います。子どもを安心して産み育てる体制は重要なことです。事業は受給者証の発行により助成申請の煩雑さが解消され、利用者が増加したことは評価できます。 |          |

【第二次魚沼市総合計画 前期基本計画】事務事業総括評価結果シート

1. 事務事業基本情報

|          |  |         |                                     |      |     |       |                  |
|----------|--|---------|-------------------------------------|------|-----|-------|------------------|
| No       | 515  | 事務事業名   | 子育て世代包括支援センター管理事業<br>【R2新規登載】       |      |     | 担当課   | 子ども課             |
|          |  |         |                                     |      | 担当係 | 母子保健係 |                  |
| ハード/ソフト  | ■ソフト   | 根拠法令等   | 母子保健法<br>児童虐待の防止に関する法律<br>子ども子育て支援法 | 会計区分 | 会計  | 一般    | 担当課長氏名           |
| 開始年度     | 令和2年度  |         |                                     |      | 款   | 4     | 担当者氏名            |
| 終了(予定)年度 | 令和 年度  |         |                                     |      | 項   | 1     | 連絡先(TEL・IP)      |
| 実施方法     | ■直営  | 対象者及び人数 | 妊産婦、乳幼児とその保護者<br>人                  |      | 目   | 2     | 総事業費<br>(H28~R2) |
|          |  |         |                                     | 事業   | 13  |       |                  |
| 事業概要     | 母子保健法等の改正により、平成29年4月から市区町村に子育て世代包括支援センター（法律における名称は「母子健康包括支援センター」。）を設置することが努力義務とされた。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築するために、子育て世代包括支援センターにおいて、母子保健施策と子育て支援施策の一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うものです。 |         |                                     |      |     |       |                  |

2. 総合計画上の位置づけ

|       |                               |                  |   |
|-------|-------------------------------|------------------|---|
| ■基本目標 | 【健康福祉】生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり | ■取組方針<br>(施策の内容) | 育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。<br>妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターが連携し、情報の発信を行う体制づくりとその確立に努めます。 |
| ■施策番号 | ( 3 — 2 — 1 )                 |                  |   |

3. その他関連する個別計画上の位置づけ

|        |                              |         |   |
|--------|------------------------------|---------|---|
| ■計画の名称 | 魚沼市子ども・子育て支援事業計画<br>(母子保健計画) | ■施策の内容等 | 安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができます。<br>子どもの疾病予防を目的とした健康管理・指導が受けられます。<br>健やかな成長発達に必要な子育てに関する相談体制・学習機会があります。 |
|--------|------------------------------|---------|---|

|   |                   |  |
|---|-------------------|--|
| 総合戦略での位置づけ                                      | ■戦略番号             | 戦略3 地域が持続的に発展するため、若い世代の希望かなえられる環境をつくる。 |
|   | ■戦略の方向            | 3-(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援            |
|   | ■主な施策             | 3-(2)-② 安心して出産できる環境整備と子育て支援の充実         |
|   | 人口減少問題対策に対して寄与する点 |  |
| 安心して妊娠、出産、育児ができる環境があることで、若い世代の定住者を増やすことにつながります。 |                   |  |

4. 事業実施に向けた課題

|            |  |            |   |
|------------|--|------------|---|
| 事業実施における課題 | 子育て世代包括支援センターの機能として妊産婦、乳幼児等が気軽に立ち寄ることができ、ワンストップの相談窓口として認知される必要があります。また、保護者の状態像に合わせて関わりの視点の統一を図り、適切な支援とフォローアップをしていく必要があります。 | 課題解決に向けた方策 | 広く市民に子育て世代包括支援センターの周知を図るとともに、母子保健、子育て支援の支援者間の連携等により、効果的な関わりができるように努めます。 |
|------------|--|------------|---|

5. 指標の設定

| 指標種類                          | 項目              | H28実績/目標<br>(達成率) | H29実績/目標<br>(達成率) | H30実績/目標<br>(達成率) | R1実績/目標<br>(達成率) | R2実績/目標<br>(達成率)    | 単位 | 備考(説明・計算式)         |
|-------------------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------------|----|--------------------|
| 活動指標                          | 要支援の妊産婦への訪問実施割合 | 0/00<br>(0.0%)    | 0/0<br>(0.0%)     | 0/0<br>(0.0%)     | 0/0<br>(0.0%)    | 100/100<br>(100.0%) | %  | 産後ケア利用者、医療機関からの連絡者 |
|                               |                 | 0/00<br>(0.0%)    | 0/0<br>(0.0%)     | 0/0<br>(0.0%)     | 0/00<br>(0.0%)   | /0<br>(%)           |    |                    |
|                               |                 | 0/00<br>(0.0%)    | 0/0<br>(0.0%)     | 0/0<br>(0.0%)     | 0/00<br>(0.0%)   | /0<br>(%)           | %  |                    |
| <input type="checkbox"/> 定性指標 |                 |                   |                   |                   |                  |                     |    |                    |

6. 総事業費

(単位：千円)

| 区分             | H 2 8 | H 2 9 | H 3 0 | R 1 | R 2  | 備考 |
|----------------|-------|-------|-------|-----|--|----|
|                | 決算額   | 決算額   | 決算額   | 決算額 | 決算額  |    |
| 主な活動内容・年度毎の工程等 |       |       |       |     | 妊産婦・乳幼児の実情把握、妊娠・出産・子育てに関する相談対応、情報提供・保健指導、支援プラン策定、医療機関等との連絡調整 |    |
| うち現年度分事業費      |       |       |       |     | 1,141  |    |
| うち繰越分事業費       |       |       |       |     |  |    |
| 総事業費（千円）       |       |       |       |     | 1,141  |    |

7. その他特記事項

|  |
|--|
|  |
|--|

8. 事後評価（担当課評価）

| 施策への貢献度                        | 施策名              | 貢献度                           |      | 施策に対してどのように貢献したか   |
|--------------------------------|------------------|-------------------------------|------|--|
|                                | 【3-2-1】<br>子育て支援 | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い  | やや高い | 妊娠出産及び子育て期に切れ目のない支援を行うことで、育児不安を解消し、子どもが健やかに成長できる環境を整えることにつながります。子育て世代包括支援センターが設置されたことで、相談窓口もわかりやすくなりました。 |
|                                |                  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い  |      |  |
|                                |                  | ・高い<br>・やや高い<br>・やや低い<br>・低い  |      |  |
| 次年度に向けて改善すべき事項<br>やさらに取り組むべき事項 |                  | 新設のため『子育て世代包括支援センター』の周知が必要です。 |      |  |

| 事業の格付け（ポジショニング） |   | 評価の理由 |   |
|-----------------|---|-------|---|
| 事業の成果           | S：目標達成超過<br>A：目標達成<br>B：相当程度進展あり<br>C：進展が大きくない<br>D：目標に向かっていない                                | A     | 「子育て世代包括支援センター」を設置することで妊産婦及び乳幼児の相談支援を包括的に実施できる体制がとれました。 |
| 令和4年度事業の方向性     | 妊娠届出時の面談から切れ目のない支援ができるように「子育て世代包括支援センター」を周知し、支援者の連携を図りながら要支援者に寄り添う支援をしていきます。                  |       |   |
| 外部評価            | 安心して子どもを産み、育てるための大切な事業です。令和2年度に始まったばかりの事業であることから、今後は支援センターの活動を広く周知するとともに、人的体制を強化して取り組んでほしいです。 |       |   |



教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び  
評価の結果に関する報告書（令和2年度分）

発行 令和3年 11月

編集 魚沼市教育委員会

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地

TEL 025-793-7452 FAX 025-792-1261

URL <https://www.city.uonuma.niigata.jp/>